

釜石市新市庁舎建設に係る検討については、平成 26 年 3 月 10 日に釜石市庁舎建設検討懇話会から建設候補地として「天神町の旧釜石小学校跡地」を適地とするべきであるとの提言を、また、平成 28 年 4 月 15 日には釜石市東部地区公共・公益施設整備調査委員会から、現庁舎の改修増築と天神町の旧釜石小学校跡地への新築を比較検討した結果として、「天神町の旧釜石小学校跡地への新築が望ましい」との提言をそれぞれいただいております。

平成 28 年 7 月には、これらの提言を尊重しつつ具体的な検討を行うため、これまでの委員に一般公募の委員を加えた「釜石市新市庁舎建設検討委員会」を設立し、新庁舎の建設場所について改めて確認を行ったほか、施設の規模や、求められる機能、建設時期等について検討し、当委員会の意見を集約しましたので、提言いたします。

・新庁舎の建設場所について

「天神町の旧釜石小学校跡地」とする。

そのため、市として、次の項目へ早急に対策を実施すること。

1. 建設地東側の、市道只越天神町線（旧国道 45 号）交差点の信号機設置を含めた交差点改良による安全対策。
2. 水害への備えとしての十分な排水対策。
3. 建設地へ複数の道路からアクセスするための、市道天神町 3 号線の改良。
4. 庁舎及び駐車場等、施設の効率的な配置については、今後行われる基本設計において、十分な検討を行うこと。

これらについては、本委員会に、今後もその対策等を報告のこと。

・新庁舎の規模について

釜石市東部地区公共・公益施設整備調査委員会においては、新庁舎の規模を第 1～5 庁舎と教育センターを想定したものでしたが、保健福祉部も集約して総合庁舎とすることにより、事務の効率のほか市民サービスの向上を図ること。また、施設規模については、将来の人口減少を勘案した職員数に見合うものとする。

・新庁舎に求められる機能について

①機能的で安全な庁舎、②市民に開かれ利用しやすい庁舎、③都市づくりの拠点となる庁舎、④震災から得られた教訓を生かし防災拠点としての機能を重視した庁舎、の 4 つの基本方針について多くの意見が集約されていることから、可能な限り実現に向けての努力をすること。

釜石市庁舎建設検討懇話会からの条件とされている「孤立化しない庁舎」とするために、三陸縦貫自動車道 釜石両石インターチェンジの利活用について関係機関との調整を行うこと。

・建設時期及び財源について

建設時期については、財源として平成 29 年度に創設された「市町村役場機能緊急保全事業」の起債等、有効な制度を活用し、出来るだけ早期の着工を目指すよう求める。但し、天神町仮設住宅にお住まいの方々の、住まいの再建に配慮すること。

以上、提言書を提出します。

平成 29 年 8 月 8 日

釜石市新市庁舎建設検討委員会

委員長 山崎 長也

